



美術室では、2年生が、「篆刻」づくりに取り組んでいました。篆刻とは自分の名前の印鑑のことです。

先日紹介した立志式で自分の杖言葉を書いた色紙に押印することを目的に制作に取り組んだそうです。



印面の部分を完成させた後、印鑑の持ち手の部分を自分で考えたデザインに彫刻しています。友だちとしゃべりながら取り組む人もいれば、一人で黙々と取り組む人もいます。各々自分なりのやり方で取り組んでいました。



様々な種類のやすりを使い分けて、高麗石という素材を加工していきます。子どもたちは「丸くするところが難しい」と言いながら、こだわりのデザインを形にするために丁寧に削っていました。



流しのところに行くと「作品が完成しました」と見せてくれた作品はピカピカに輝いていました。子どもの表情も輝いて見えました。ひとり一人製作の進度は違いますが、自分なりのペースで学びを進めていました。